


エクセル集計表へのリンク

ご存知でしたか?... エクセルの集計表データや計算式を、TNT の空間オブジェクトにリンクできます。

エクセル集計表にリンクすることで...

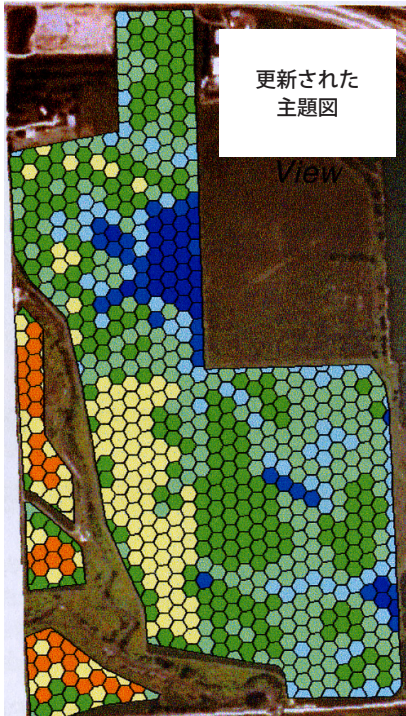
- 属性を維持したまま、エクセル集計表で複雑な計算式フィールドを作成できます。
- エクセルファイルの各シートごとにテーブル形式で表示できます。
- エクセルのデータや計算式の結果を TNT 空間オブジェクトの要素にリレートできます。
- エクセル計算式の結果をデータタイプで示すことができます。
- テーママップ (主題図) を使って、エクセル計算式の結果をグラフィカルに表示できます。
- リンクした TNT オブジェクトを表示したまま、エクセルで計算式の更新や保存が出来ます。



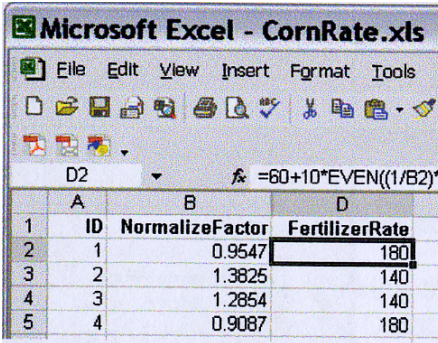
畑の主題図
散布量別の
管理領域

肥料散布量 (エクセル計算式から)

240	160
220	140
200	120
180	100



更新された
主題図
View



Microsoft Excel - CornRate.xls

	A	B	D
1	ID	NormalizeFactor	FertilizerRate
2	1	0.9547	180
3	2	1.3825	140
4	3	1.2854	140
5	4	0.9087	180

→
エクセルで肥料散布量の計算式を更新

エクセル集計表へのリンク方法

- エクセルファイルは、空間オブジェクトデータベースの中の TNT テーブルの値と同じ値を持つフィールドを含むことを確認します。
- インポート処理で、エクセルファイルを選択し、[EXCEL] 形式を選びます。
- <インポートパラメータ (Import Parameters)> ウィンドウの [リンクのみ (Link Only)] トグルをオンにします。
- TNT 空間オブジェクトから、リンクしたエクセルファイルを表わす要素データベースを選択します。
- リンクを作成後、[データベースエディタ (Database Editor)] を使って、リンクテーブルを空間要素にアタッチした TNT テーブルにリレートします。
- TNT とエクセルを同時に使うには、エクセル集計表を先に開きます。

さらに知りたいことがあれば...

以下のチュートリアルをご覧ください

地理データのインポート (Importing Geodata)

